

よっしゃ地域セミナー ～子ども支援のまなざしを地域に～

NPO 法人 西淀川子どもセンター
〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 6-9 御幣島市営住宅 3 号棟 101 号室

助成事業の概要

【実施目的】

近隣住民の方が子ども支援のことについて知り、またボランティアスタッフが地域の事を知ることによって、より一層地域に根差した活動にし、子ども支援のまなざしを持った大人を増やすこと。ただ講演を聴くだけでなく、子どもの周りで一緒に生きている大人としての、支援やつながり方をともに考え、子どもの育ちを応援できる地域づくりを地域の人々とともに目指す。

【開催時期】

平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月（全 6 回）

【内容】

第 1 回 5 月 19 日「子ども支援の視点で～まず西淀川のことを知ろう～」

講師：阪本直美（西淀川区社会福祉協議会）、藤江徹（あおぞら財団事務局長）

第 2 回 6 月 16 日「ともに育ちあう地域づくり～つながりの具体性と可能性」

講師：村井琢哉（NPO 法人山科醍醐こどものひろば事務局長）

第 3 回「子どもの話を『聴く』ための～傾聴トレーニングワークショップ～」

講師：大谷真砂子（大阪市こども相談センター通所ルーム指導員）

第 4 回 西淀川子どもセンター 5 周年記念シンポジウム「虐待防止と地域の子ど

も支援」

講師：津崎哲郎（前 大阪市中央児童相談所長・花園大学教授）

後援：西淀川区役所子育て支援室／社会福祉法人西淀川社会協議会／西淀川区民生委員協議会／西淀川区 PTA 協議会／香簗連合振興町会／朝日新聞大阪厚生文化事業団／産経新聞厚生文化事業団／江崎グリコ（株）

第 5 回 「子どものからだと心の関係性を考えるために～子どもと性～」

講師：谷田寿美江（ウィメンズセンター大阪 相談員）

第 6 回 「子ども支援の視点から考える地域づくり～夜間サテライト開設に向けて～」

講師：幸重忠孝（NPO 法人山科醍醐こどものひろば理事長）、村井琢哉（同事務局長）

事業の成果

予定通り全 6 回実施し、合計 191 名の参加があった。地域に住む人々をはじめ、学校・教育関係者や、西淀川子どもセンターの活動や子ども支援に関心を持つ多様な方々との出会いとなり、この一年で賛助会員やメルマガ登録者もぐんと増えた。

毎回のセミナーでは、参加者の方々とスタッフが、ともに地域の子どもの取り巻く環境や課題について話し合い、また学校や教育に関わる人々は

新たに出会い、意見を交換することができ、「子ども支援」という概念を広め、関心や知識を深め、共有する機会となった。また、第4回目の「発足5周年記念シンポジウム」には、区役所や区PTA協議会、新聞社二社の共催協力があり、近隣住民の方を中心に107名もの参加があり、西淀川子どもセンターの存在や活動を多くの方に知っていただき、より一層地域に溶け込む機会となった。本事業を通じて、「夜間サテライト事業」という新たな取り組みへの計画が立ち上がるなどの成果も得られた。

参加者のアンケートからも見て取ることができる。(以下に、一部抜粋)

・第1回

『『地域を大切にすること』は、『人とのつながりを大切にすること』なのだと思います。』

・第2回

「自分が地域の中で何ができるのか、今一度整理してみたいと思います。やっぱり“おせっかいおばちゃん”かな？足もとの活動、がんばります。」

・第3回

「普段は学校現場で子どもたちと関わっています。ゆっくり、じっくり子どもの話を聞くことが大切だなと感じましたし、聴き方やアプローチの仕方も、参加者の皆さんや講師先生から勉強でき、良かったです。」

・第4回

「もう子どもも成人し、孫もいなくて、子どもに接することがありません。しかし、子どもや子育て中の親へ関心を持って、声をかけていくことはできそうです。プライバシーが大事とされていて、迷惑がられるのではないかと考えていましたが、さっそくやっていきたいと思いました。しつ

けと虐待のちがいもよくわかりました。助け合いのまちづくりができるといいなあと思いました。」

・第5回

「虐待やいじめの相談を受ける機会の多い、また発見するチャンスのある養護教諭が、学校の中でどう発信していくかがキーポイントになるなあと、つくづく職務の重みを感じた。」

・第6回

「子どもの自主性を尊重する、できないことは気にせず、子どものいいところを伸ばす、ということを中心にしているのが印象的。これは頭でわかっているけど、なかなか行動できないことなので、それを重点においておられるところが素敵だと思った。」

成果の広報、公表

まず、各セミナーの様子や、参加者アンケートについては、各セミナー終了後、HP スタッフブログ (<http://popins08.blog.ocn.ne.jp/blog/>) に掲載し、報告した。

次に、会報“よっしゃ号外”及び“よっしゃ第9号”(各1000部発行)に掲載し、賛助会員・各連携機関へ送付した。また、事業報告書を作成し「2012年度よっしゃ地域セミナー報告冊子」、会報“よっしゃ第10号”と同時に賛助会員・各関係機関へ送付した。

賛助会員が38名増え219名となり、地域の人々との話しあいで繋がりがより一層強まった。メルマガ登録者、Facebook、Twitterでの広報も広がっている。

今後の展開

様々な分野の講師に来ていただき、地域や子ども

もを取り巻く課題について、地域の人々とともに、改めて認識することができた。

西淀川子どもセンターでは次年度より、様々な事情から一人で夜を過ごしている子どもたちを支援する「夜間サテライト」事業準備も新たに始める。この事業は、一年間の各セミナーの講師や参加者との意見交換や交流を通じて見えてきた課題であり、それぞれとの連携を深めながら進めていきたい。